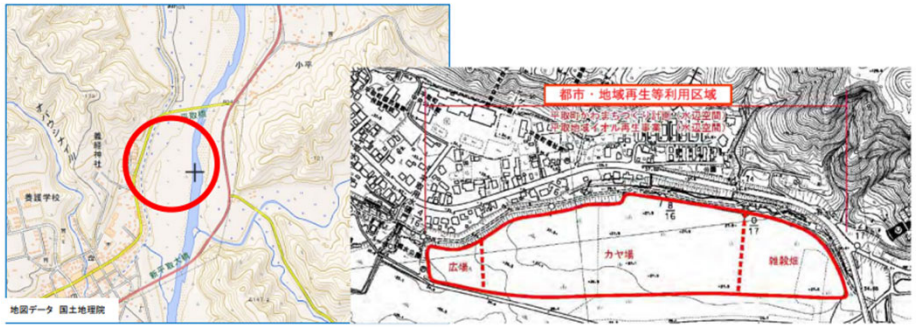
北海道平取町（一級河川　沙流川）

区域名称	平取地域イオル再生事業
概要	河川敷地に水辺空間を整備し、周辺のイオル（アイヌの伝統的生活空間）の森等と一体となったアイヌ文化の伝承の場を創出、文化の薫り高いまちづくりを促進。 アイヌ文化有用植物の栽培、文化の伝承・体験・交流空間の整備。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・沙流川水系・沙流川
指定範囲	平取町親水公園～平取橋
指定日	H24.4.1
占用主体	平取町長
占用施設	水辺空間及びこれと一体をなす施設
合意方法	沙流川流域イオル構想平取町推進協議会
許可期間	10年

位　置



事業スキーム



水辺の様子



効果と今後の展開

- 伝統料理の材料となる穀物を栽培し、他の場所で採れた穀物も含め、アイヌの伝統料理体験を継続して実施。
- アイヌ文化伝承に必要な自然素材を確保し、伝承活動を通じて、多くの方にアイヌ文化を知ってもらう。
- 地域に息づくアイヌ文化を全道・全国、世界に向けて発信。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

積雪地域でのオープン化事例

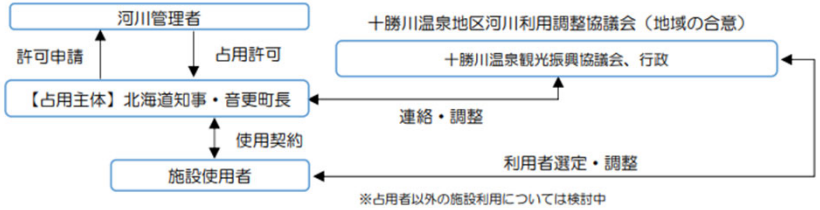
北海道音更町（一級河川 十勝川）

区域名称	十勝川温泉（アクアパーク・エコロジーパーク）
概要	十勝川温泉地区の都市再生整備計画事業と連携し、水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくりを推進。 オープンカフェや十勝川を活用した自然体験活動を通じて、地域の賑わいや活性化が期待される。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・十勝川水系・十勝川
指定範囲	河東郡音更町十勝川温泉北７丁目～南１９丁目５－３地先
指定日	H28.4.19、R1.10.25（追加指定）
占用主体	北海道知事、音更町長
占用施設	広場、イベント施設、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす売店・照明・音響施設等
合意方法	十勝川温泉地区河川利用調整協議会
許可期間	10年

位置



事業スキーム



水辺の様子

オープンカフェ





十勝川温泉地区



効果と今後の展開

北海道十勝を代表する十勝川温泉地区において、四季折々の豊かな十勝川の魅力を伝え、地域の水辺の賑わいあるまちづくりを形成するため以下のイベントを都市・地域再生等利用区域で行う予定です。

・夏季：フットパスイベント、自然観察等イベント
・冬季：スノーラフティング、スノートレッキング

※上記イベントと一体をなす飲食販売の実施

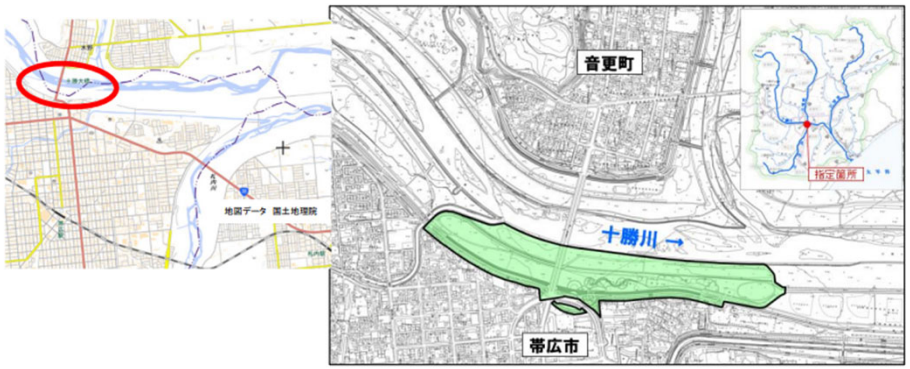
アクアパークに加えてエコロジーパークを追加指定することで、両区域が連携して様々なイベントを開催し、十勝の観光振興の更なる促進と交流人口増加を目指していきます。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

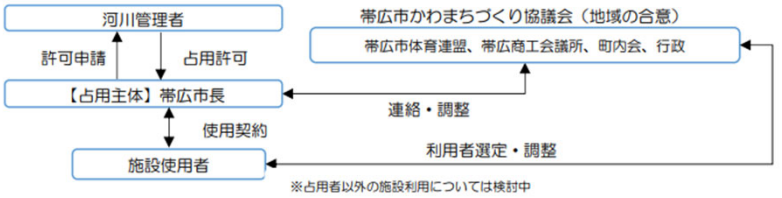
北海道帯広市（一級河川　十勝川）

区域名称	十勝川河川敷多目的施設
概要	帯広市新総合体育館の供用開始に合わせ、多様な市民が交流し賑わう場として水辺空間を活用していくため、体育館と連携したイベント等を展開していく。各種イベントやオープンカフェの実施により、地域の活性化が期待される。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・十勝川水系・十勝川
指定範囲	帯広市西５条北５丁目１－１～東6条北１丁目２地先
指定日	R1.9.2
占用主体	帯広市長
占用施設	広場、イベント施設、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす売店・照明・音響施設等
合意方法	帯広市かわまちづくり協議会
許可期間	10年

位　置



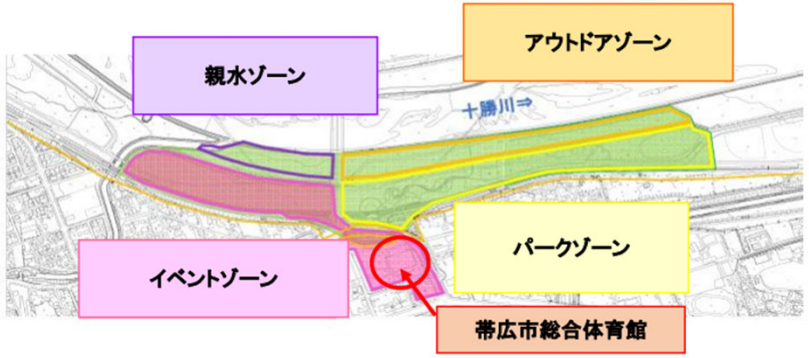
事業スキーム



水辺の様子

各ゾーンにおいて様々なイベントを開催





効果と今後の展開

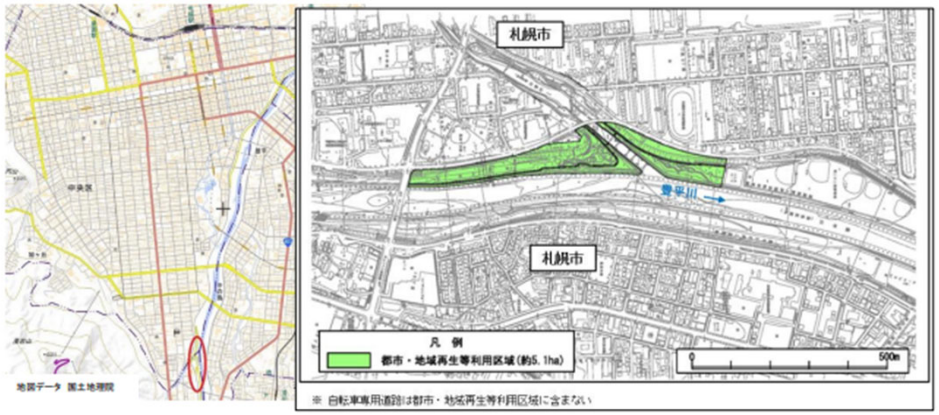
帯広市新総合体育館と連携し、スポーツや観光を通じた多様な市民が交流し賑わう場として河川空間を利活用していくため、以下のイベントを展開していく予定です。
・河川敷を利用したスポーツイベント（マラソン、クロスカントリーなど）
・体育館と連携したイベント（各種スポーツ大会、コンサート）
・その他花火大会などのイベント
※上記イベントと一体をなす飲食販売の実施
一年間を通じて様々なイベントを展開することにより、地域活性化と交流人口増加を目指していきます。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

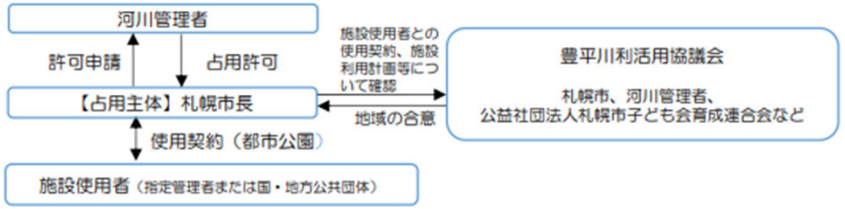
北海道札幌市（一級河川　豊平川）

区域名称	豊平川ウォーターガーデン
概要	札幌市の公園緑地「豊平川ウォーターガーデン」を中心として、自然とのふれあいの場や子育ての場としての機能充実と利活用促進を図るため、環境教育等のイベント開催、飲食物の販売等を実施する。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・石狩川水系・豊平川
指定範囲	札幌市中央区南２６条西７丁目３９５－９～ 南区南３０条西８丁目５１０－１地先
指定日	R2.1.27
占用主体	札幌市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明音響施設・日よけ等
合意方法	豊平川利活用協議会
許可期間	10年

位　置



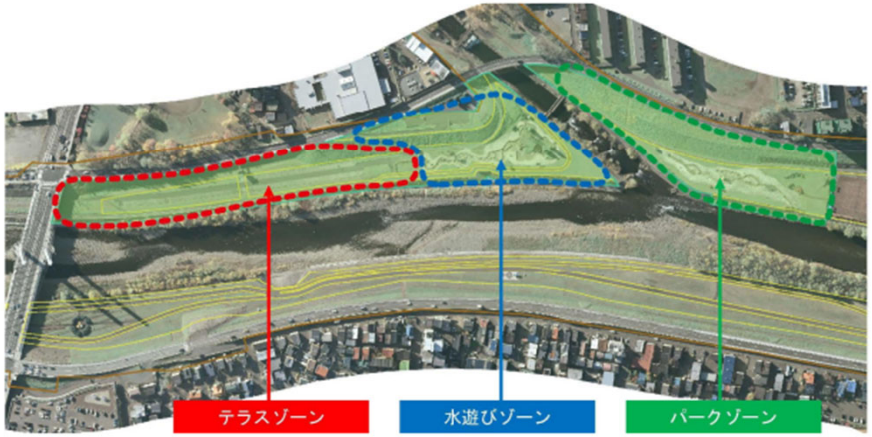
事業スキーム



水辺の様子







効果と今後の展開

- 「豊平川ウォーターガーデン」には、遊水路や遊具が設置され、夏には多くの家族連れが訪れる。
- 環境教育イベントの開催や民間事業者との連携による飲食物等の販売、休憩施設等の利便施設の充実により、レクリエーション・レジャー空間としての利用促進を図る。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

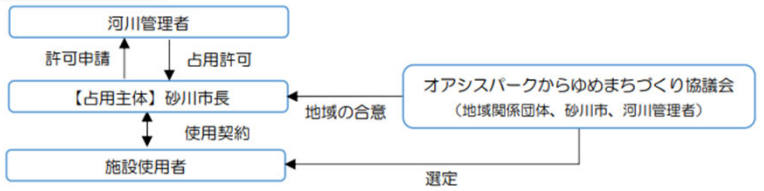
すながわし　いしかりがわ
北海道砂川市（一級河川　石狩川）

区域名称	砂川オアシスパーク（砂川遊水地）
概要	地域の観光資源を情報発信するとともに河川空間を有効活用し、レクリエーション・レジャー空間として砂川オアシスパーク地区の魅力を高めていく。また、既存イベントと連携し、新たなアクティビティの運営や飲食物の提供、物品販売などを行い、観光交流の促進・産業振興のさらなる発展を目指す。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・石狩川水系・石狩川
指定範囲	砂川遊水地内
指定日	R2.11.11
占用主体	砂川市長
占用施設	広場、イベント施設、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす売店・照明・音響施設等
合意方法	オアシスパークからゆめまちづくり協議会
許可期間	１０年

位　置



事業スキーム



水辺の様子



効果と今後の展開

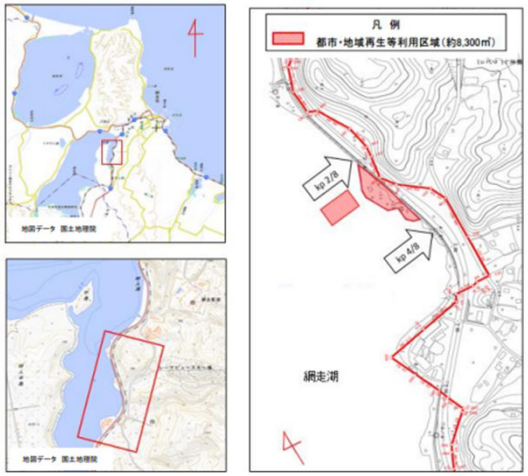
- SNS等による情報発信の強化を図り事業者の拡大を図る。
- 既存イベントの他に民間団体が主導するイベント（ウィンドサーフィン・水上バイク・釣り・サイクリング・スイートマラニック・各種スポーツ・ミニフェス等）開催の場としてより認知度を高め利用促進を図る。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

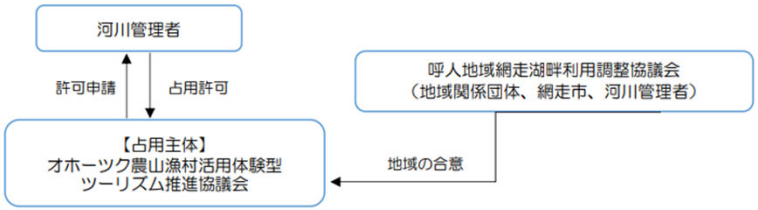
北海道網走市（一級河川　網走川）

区域名称	網走湖呼人地域
概要	オホーツク管内網走市呼人地域の豊かな自然環境を生かしたカヤックツアーなどの体験型ツーリズム事業の実施により、水辺とまちを繋ぐ観光拠点として網走川沿いの賑わいを創出し、地域活性化を推進することを目指す。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・網走川水系・網走川
指定範囲	網走市字呼人839地先
指定日	R3.10.27
占用主体	オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会
占用施設	広場、イベント施設、船着場、これらと一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、照明、切符売場、案内所、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設
合意方法	呼人地域網走湖畔利用調整協議会
許可期間	１０年

位　置



事業スキーム



水辺の様子



効果と今後の展開

- アドベンチャーツーリズムの開発や、地域の食資源を活用した観光を推進する拠点として期待されている。
- 地域の活性化に向けた観光体験事業のさらなる発展及び事業を支える人材育成。
  体験型事業例：地元食材を使ったお豆腐・ピザ・郷土料理作り体験、カヤックツアー、冬季のわかさぎ釣り、ファットバイク等　※事業に伴う飲食物販売も実施。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

北海道恵庭市（一級河川　漁川）

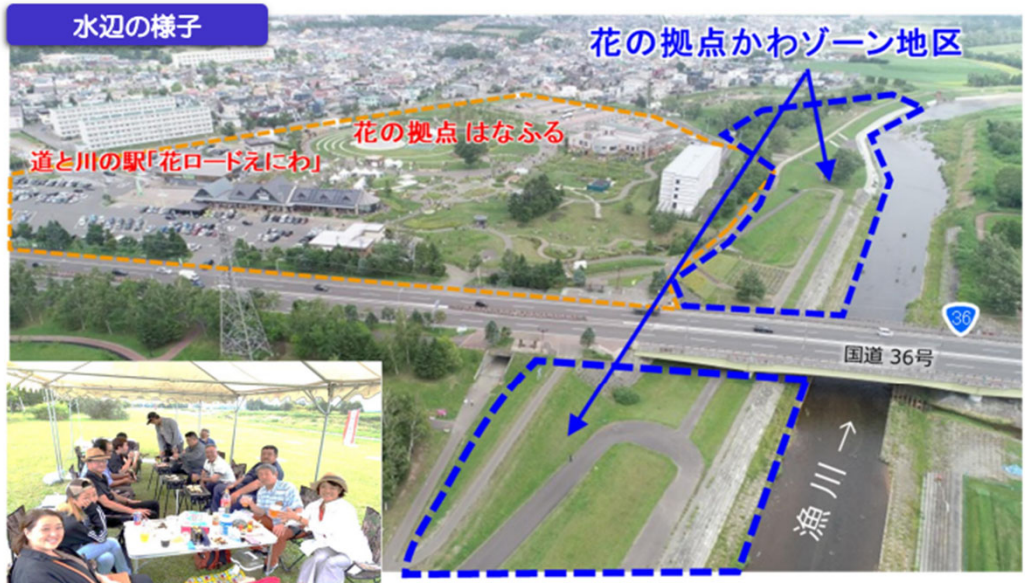
区域名称	花の拠点かわゾーン地区
概要	花の拠点かわゾーン地区に隣接する「花の拠点はなふる」「道と川の駅（花ロードえにわ）」の各種イベントと連携し、新たなオープンスペースとして利活用を図り、観光交流の促進、地域産業振興が期待される。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	１級・石狩川水系・漁川
指定範囲	恵庭市南島松606番1地先～同市中島町3丁目1番3地先
指定日	R5.6.12
占用主体	恵庭市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、船着場、これらと一体をなす売店、オープンカフェ、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、川床、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設
合意方法	花の拠点かわゾーン地区利用調整協議会
許可期間	10年

位　置





水辺の様子

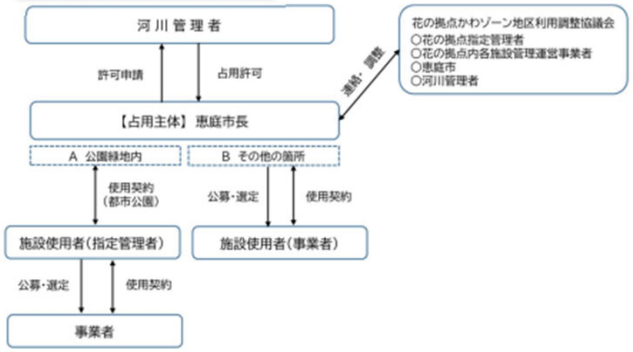


BBQの様子



サケ稚魚放流式の様子

事業スキーム



効果と今後の展開

- 隣接する花の拠点の各コンテンツや、花の拠点を会場として開催される各種イベントと連携して、新たなオープンスペースの利活用を図り、更なる発展を目指す。
- 飲食物、物販販売（オープンカフェ、マルシェなど）
- レジャーアクティビティの運営（キャンプ、BBQ、ドックランなど）
- 景観エリアの造成（川の花箱、パーゴラの道、市民花壇など）
- 学び場の造成（稚魚放流、バードウォッチングなど）

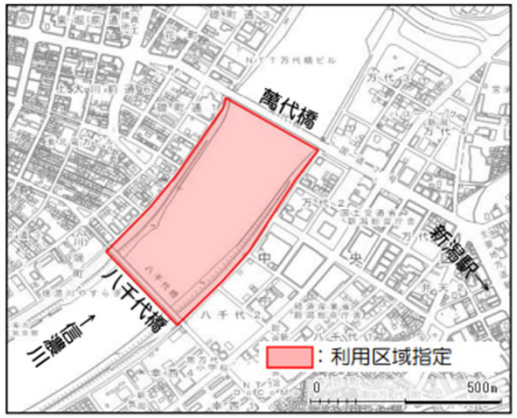
出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

新潟県新潟市（一級河川　信濃川）

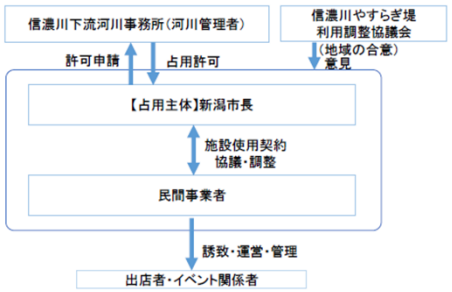
区域名称	信濃川やすらぎ堤
概要	新潟市中心市街地を流れる信濃川のやすらぎ堤（緩やかな法面勾配（５割）の堤防）や萬代橋は、新潟市のシンボルである。その素晴らしいロケーションを活かしたイベントの実施や飲食店の出店等により、賑わいと憩いの場が創出され、河川区域を含む萬代橋周辺地区の一層の活性化と新潟市の魅力・活力の向上が図られる。
河川管理者	北陸地方整備局長
水系名・河川名	１級・信濃川水系・信濃川
指定範囲	萬代橋から八千代橋間の信濃川左右岸及び水面
指定日	H28.2.25
占用主体	新潟市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、船着場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明、音響施設、切符売場、案内所、船上食事施設、等
合意方法	信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
許可期間	３年

位　置

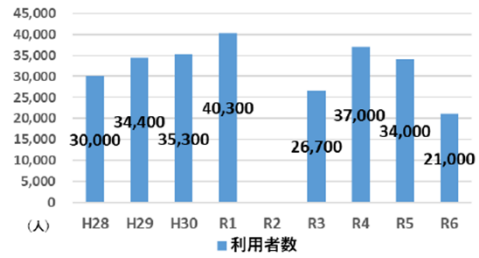




事業スキーム



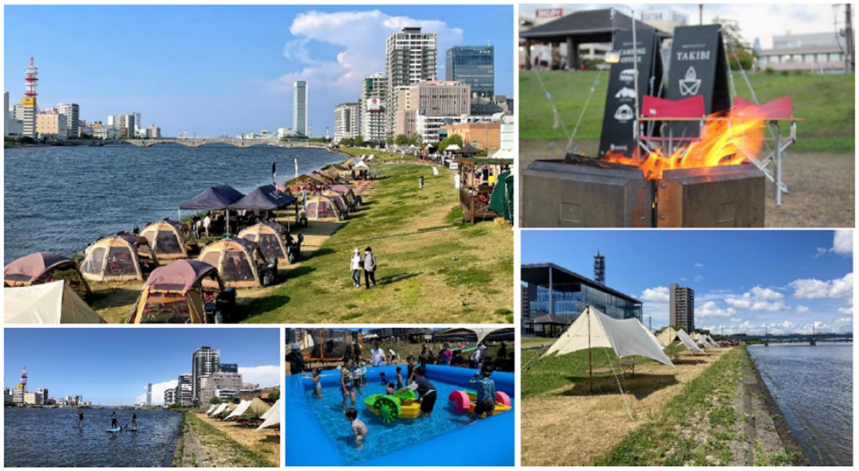
利用者数



※R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止

水辺の様子

新潟市都心部の憩いの場となっているやすらぎ堤



効果と今後の展開

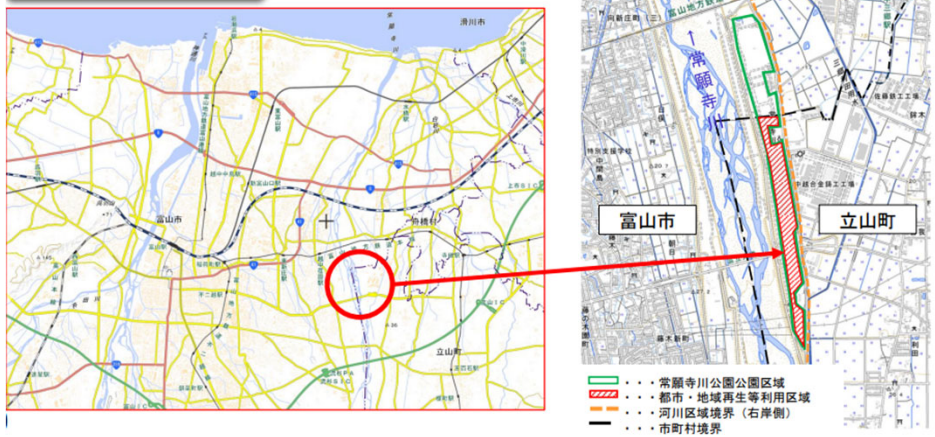
- 占用主体（新潟市長）が公募した民間事業者と使用契約を結び、オープンカフェや売店等による店舗営業や各種アウトドアイベントを開催している。
- 水辺空間を活かした統一的な設えのもと開催する飲食出店やイベントは、コロナ禍においても多くの利用があり、利用者の満足度も非常に良好であった。
- 令和５年度以降の体制について、令和４年度末に、右岸側と左岸側で分けて事業者の公募を行った。右岸側と左岸側は立地特性や条件が異なるため、分けて公募することで、今後、より多様な利活用や賑わいの創出が期待される。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局

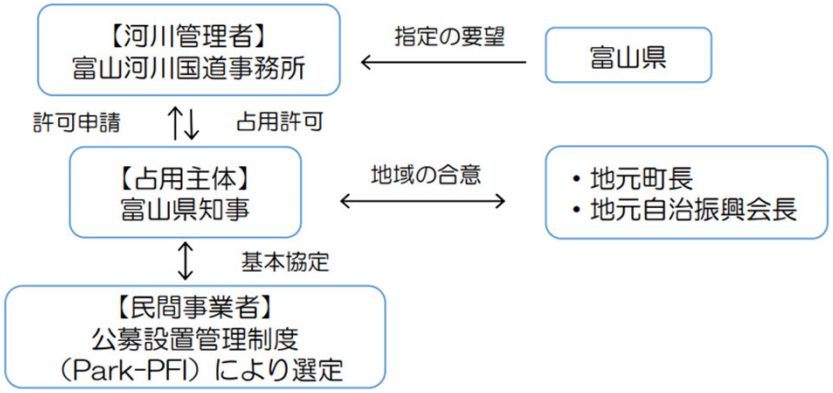
富山県立山町（一級河川　常願寺川）

区域名称	常願寺川公園
概要	河川公園内において、飲食売店やバーベキュー、グランピングキャンプなどの営業活動を行う事業者による河川占用を可能とすることで、賑わいの向上を創出しようとするもの。
河川管理者	北陸地方整備局長
水系名・河川名	１級・常願寺川水系・常願寺川
指定範囲	常願寺川公園の一部区域
指定日	R5.8.9
占用主体	富山県知事
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフエ、広告板、広告柱、照明、音響施設、バーベキュー広場、案内所等、日よけ
合意方法	・県立都市公園における民間活力導入に係る整備方針策定委員会 ・関係自治体及び地元の同意
許可期間	準備中

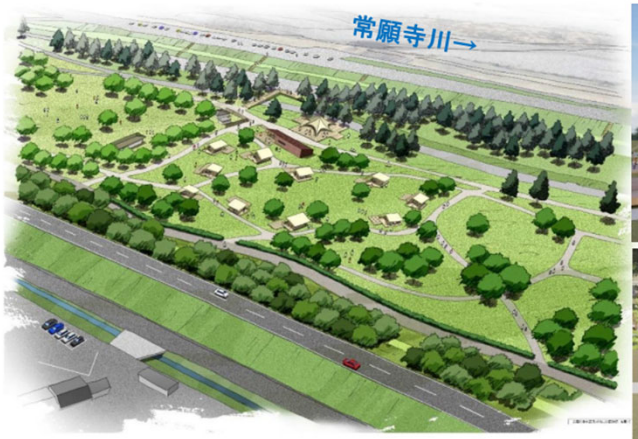
位　置



事業スキーム



水辺の様子



整備イメージ


センターハウス


バーベキューサイト（デッキ+ルーフ）

効果と今後の展開

・自然に寄り添いながら、家族・仲間と楽しめる新しいスタイルの（手ぶらで気軽に楽しめる）バーベキュー施設を設置し、良好な水辺空間を保全しながら、常願寺川公園（常願寺川河川敷）全体の賑わい創出を目指します。
・令和7年夏のオープンを予定しています。

出典：河川空間のオープン化活用事例集（令和7年7月）国土交通省水管理・国土保全局